

第46回 2017年日本海時代の祭典

<テーマ>復興と支援 — 牡鹿半島桃浦(もものうら)を訪ねて —

<期 日> 2017年10月27日(金)～29日(日)

集合:14:30 石巻駅前「ロマン海遊21」ビル前／解散:14:00 石巻駅前

<主会場> 宮城県石巻市桃浦(牡鹿半島)／くじら民宿瑞幸(ずいこう)

〒986-2353 宮城県石巻市桃浦字稗沢70-1 ☎0225-90-2341

<趣 旨>

東日本大震災からの復興再生を願って活動している「桃浦浜づくり実行委員会」を一つのモデルとして、「復興と支援」について考えてみましょう。

開催地「桃浦」は、三陸復興国立公園の南端、牡鹿半島の西側に位置し、仙台湾に面する漁村です。「桃浦」の名は桃源郷に由来するとも言われ、海と山が織りなすリアス海岸の入り江にのぞむ集落です。先の震災で牡鹿半島の殆どどの集落が壊滅的な被害を蒙りましたが、「桃浦」も65戸の住人が11戸に激減しました。

「桃浦浜づくり実行委員会」は、こうした状況の中で※「アーキエイド」の一員として活動していた筑波大学貝島研究室と住人達が「桃浦の将来像」を実現するために組織し、集落の明日にむけて様々な活動を実践しています。 ※(東日本大震災における建築家による復興支援ネットワーク)

祭典では、震災前の「桃浦」の暮らしや歴史を知り、刺し網漁や間伐体験、史跡巡りを通して集落への理解を深め、これからの復興支援活動について語り合ひましょう。

<参加費用> 2泊3日(6食付) 1泊2日(3～4食付)

一般参加者 25,000円 17,000円

学生参加者 15,000円 10,000円

{講師謝礼、現地移動経費(車・貸切バス)、保険料、見学料、昼食2食分を含む。}

※地元参加者は実費。(昼食代、保険料)

振込先:ゆうちょ銀行(普通)ハセガワ サプロウ 記号 10540 番号 62262331

※又は現地受付でお支払い下さい。(会計担当 安達晶子)

<参加申込>東京事務局 安達晶子宛／◎申込み締切 :10月15日(日)

E-mail: adachi.akiko@mbr.nifty.com 又は TEL:090-3529-1914

◆お問合せ:日本海時代の祭典・東京事務局<2017 祭典担当>まで

長谷川郁子 090-8113-3355 E-mail: peony-iku@hotmail.co.jp

堀土知可子 047-7111-8188 E-mail: achako115@kss.biglobe.ne.jp

<日 程>

日時	10/27(金)	10/28(土)		10/29(日)	
6		06:00 漁業体験(刺し網漁) 桃浦湾 希望者のみ 漁獲物が昼食の食材になります。			
7					
8		8:00 朝食		8:00 朝食	
9		9:30 ~ 11:30 林業体験(間伐) 洞仙寺杉林	9:30 ~ 11:30 郷土料理作り 江刺みゆきさん (石巻漁協女性部 部長)	09:00~14:00 バス移動 「牡鹿半島の歴史と復興の姿を訪ね て」 桃浦 → 鮎川(おしかのれん街+ 石巻市復興まちづくり情報交流館)→ 唐船御番所→ 金華山黄金山神社一の鳥居→ コバルトライン→	
10					
11					
12		12:00 ~ 13:00 昼 食(郷土料理試食会)		12:00サン・ファン館着 (昼食+見学)	
13		林業体験 続き 13:30 ~ 16:30 間伐・玉切り 洞仙寺杉林	歴史散策 13:30 ~ 16:30 a中世寺院跡探索 -洞仙寺裏山- 案内(八巻) 徒歩 b史跡巡り -荻浜・月浦- 案内(松浦) 車 c自由行動	13:40 サンファン館出発 14:00 石巻駅前着 解散	
14	14:30 石巻駅前集合 (瑞幸のバスで送迎)				
15	15:00 桃浦(瑞幸着)				
16					
17	17:30 夕食	17:30 夕食			
18	18:30~20:00「桃浦の今と昔」 震災前の桃浦の暮らしや歴史から 失われた集落の姿を知る 講師: 甲谷 強(漁師、元行政区長) : 八巻芳栄(洞仙寺住職)	18:30 ~ 20:00 瑞幸大広間 「牡鹿半島の復興支援活動~桃浦の場合~」 講師: 佐藤布武(筑波大学助教 建築学) : 桃浦浜づくり実行委員会			
19					
20~22	懇親会	懇親会			

※民宿「瑞幸」備品:タオル 歯ブラシ ドライヤー 寝間着

◆交通案内

利用経路: 東京 ⇄ 仙台 ⇄ 石巻

(東北新幹線) (JR 仙石東北ライン)

<往き>東京(はやぶさ17)11:20 → 12:52 仙台 13:16 → 石巻 14:17

<帰り>石巻 14:58 → 16:00 仙台 16:30(はやぶさ24) → 18:04 東京

友人・知人などお誘いあわせの上、奮ってご参加ください!!

— 主催：日本海時代の祭典 —



「いしのまき観光ガイドマップ」より

日本海時代の祭典とは

「日本海時代の祭典」は、1970年の大阪万博に疑問を感じた人々が日本海は佐渡にて集まりを持ったことに発する信条、性別、年齢にとられない自由な集いです。経済優先の風潮の中で見失われがちな問題を、生活者の目線で見つめてきました。特定の主催者はなく、参加者からテーマ、開催地を募り、年一回2～3日の日程で開催しています。

「祭典」では、全国から集まった参加者と開催地参加者が円座になり、互いに話し手、聞き手になりながら、時にはテーマから外れて自由闊達に話を楽します。今年で46回48年目を迎えます。

《 歴代祭典のテーマと会場一覧 》

題 01回	「日本海時代の祭典」	新潟県佐渡島（両津）	1970/10/02～04
第 02回	「日本人を考える」	東京	1971/12/11～12
第 03回	「地方を考える」	長野県富士見町	1972/08/24～27
第 04回	「人間・海」	新潟県柏崎	1973/07/26～29
第 05回	「土とコンクリートの戦い<農村と都市を考える>」	新潟県佐渡（新穂）	1974/10/11～13
第 06回	「コメ」	秋田県田沢湖町	1975/08/23～25
第 07回	「海」	岩手県陸前高田	1976/7/30～8/1
第 08回	「水―旧谷中村の集い―」	茨城県古河市	1977/11/26～27
第 09回	「島」	新潟県佐渡（松ヶ崎）	1978/08/25～27
第 10回	「道」	山梨県芦安村	1979/08/24～26
第 11回	「水」	滋賀県近江八幡	1980/08/08～10
第 12回	「エネルギーを考える」	富山県平村五箇山	1981/08/21～23
第 13回	「食糧」	新潟県佐渡（佐和田）	1982/07/23～25
第 14回	「都市化と暮らしの環境」	大阪府箕面市	1983/08/05～07
第 15回	「自然と暮らし」	長野県飯田市大平	1984/8/31～9/1
第 16回	「海辺―自然とのつきあい方を考える」	和歌山県田辺市天神崎	1985/08/02～04
第 17回	「KASOはシンプル空間」	長野県美麻村	1986/08/22～24
第 18回	「森林生態系と人の暮らし」	京都府美山町	1987/08/21～23
第 19回	「コメ」	秋田県男鹿温泉	1988/08/26～28
第 20回	「日本人と国際化」	新潟県佐渡（畑野）	1989/08/25～27
第 21回	「沿岸漁業を考える」	富山県氷見市小境	1990/08/24～26
第 22回	「林間学校～《生き方》を考える」	山梨県白州町	1991/08/16～18
第 23回	「人形と海人族の島から」	兵庫県淡路島	1992/08/28～30
第 24回	「祭りは心を育てるコミュニケーション」	京都市洛西	1993/08/27～29
第 25回	「『地方って、どんなところ?!』をみんなで見よう」	福島県裏磐梯高原	1994/08/26～28
第 26回	「『日本海時代の祭典』を考える」	神戸市北区道場	1995/09/09～10
第 27回	「ボランティアってなあに？」	神奈川県箱根芦ノ湖畔	1996/09/08～10
第 28回	「今こそ自立！」	岐阜県高山	1997/08/29～31
第 29回	「エコロジーはエゴロジー」	長野県美麻村	1998/08/22～24
第 30回	「旅のかたちを求めて～響けおんどこ～」	新潟県佐渡（畑野町）	1999/07/24～26
第 31回	「『半島』という存在」	静岡県西伊豆（大沢里）	2000/09/01～03
第 32回	「山村と都市の生活者が協働する村づくり」	富山県利賀村	2001/8/31～9/2
第 33回	「都市とむらをつなぐちから」	新潟県牧村	2002/8/30～9/1
第 34回	「私と地域の自画像を見つめる」	新潟県佐渡（小木町）	2003/09/05～07
第 35回	「棚田―自然と人をむすぶ農の姿」	千葉県鴨川市	2004/09/18～20
第 36回	「水の道・エネルギーの道」	福井県小浜市	2005/09/02～04
第 37回	「伊豆で暮らすということ」	静岡県西伊豆（黄金崎）	2006/09/08～10
第 38回	「へんろ・遍路・辺路・HENRO」	愛媛県今治市	2007/10/19～21
第 39回	「またぎ―東北の深山に狩猟文化を尋ねて」	秋田県北秋田市阿仁	2008/11/08～10
第 40回	「『農ある暮らし』に日本の希望を見る」	京都府綾部市	2009/09/04～06
第 41回	「佐渡・伝統芸能『文弥人形』伝承と創造」	新潟県佐渡市外海府	2010/09/03～05
第 42回	「沖縄くくるぬゆんたく」	沖縄県南城市久高島	2011/10/20～23
第 43回	「隠岐 伝承芸能が紡ぐ地域の絆」	島根県隠岐の島市	2012/09/07～09
第 44回	「大震災をのりこえて」	宮城県石巻市北上町	2014/09/05～07
第 45回	「原子力発電に関する素朴な疑問」	福井県小浜市	2015/09/18～20